

■令和6年度 第1回 北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

日 時：令和6年6月28日（金）午後1時半～

会 場：豊栄地区公民館 大講堂（北区役所3階）

（司 会）

本日はご多用にもかかわらず会議にご出席いただき、ありがとうございます。ただいまから、令和6年度第1回北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催させていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、私は北区健康福祉課障がい福祉係の荻原です。よろしくお願いいいたします。

はじめに、本日の委員の出席状況ですが、鈴木委員、相馬委員、田邊委員の3名から欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

なお、本日の会議の内容につきましては、後日ホームページで公表するため録音させていただきますので、ご了承くださいようお願いいたします。

次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。事前に郵送で送付させていただきました会議次第、資料1、委員名簿、資料2、委員会開催要綱、資料3、令和5年度計画推進のための取組み（3月末現在）、資料4、令和5年度第2回協議会におけるご意見及び回答、資料5、令和5年度北区健康福祉課主要事業（3月末現在）、資料6、令和5年度北区社会福祉協議会主要事業（3月末現在）、資料7、令和6年度計画推進のための取組み、資料8、令和6年度北区健康福祉課主要事業、資料9、令和6年度北区社会福祉協議会主要事業。こちらに加えて、本日、机上にて配付させていただきました、座席表とカラー刷りの北区役所だより2月18日号、支え合いのしくみづくりという記事が載っています印刷物1枚と、黄色の小冊子、働き世代のための食を通じてこどもを育てる本。こちら、机上配付とさせていただきました。お持ちでない方はいらっしゃいますか。もしでしたら、お声がけください。

よろしいでしょうか。

なお、この委員会は北区健康福祉課と北区社会福祉協議会の合同事務局となっております。では、事務局を紹介いたします。まず、北区健康福祉課より紹介いたします。

（健康福祉課長）

北区健康福祉課で課長をしております、吉田と申します。本日はお集まりいただき、誠

にありがとうございます。

この福祉計画・活動計画も令和3年の策定から4年目を迎え、来年度取り組まれる課題抽出に向けて進行管理と評価という大事な年度を迎えております。この両計画は、行政の取組みと地域の取組みを車の両輪とし、お互いに支え合って進めていく大切な計画となっております。本日の推進委員会においては、昨年度までのそれぞれの取組状況の確認及び進行管理を中心とした活発な意見交換をしながらできればと思っております。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(健康福祉課課長補佐)

皆さん、こんにちは。北区健康福祉課課長補佐の高橋と申します。本日は、どうぞよろしくよろしくお願いいたします。

(健康福祉課課長補佐)

いつもお世話になっております。同じく健康福祉課の栗原です。よろしくお願いいたします。

(北地域保健福祉センター長)

北地域保健福祉センターの保健師、武藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(保護グループ係長)

健康福祉課保護グループの近藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

(児童福祉係長)

児童福祉係の羽田です。よろしくお願いいたします。

(高齢介護係長)

高齢介護係、滝沢と申します。よろしくお願いいたします。

(健康増進係長)

健康増進係の川崎と申します。よろしくお願いいたします。

(司 会)

障がい福祉係の荻原です。よろしくお願いいたします。

続きまして、社会福祉協議会からよろしくお願いいたします。

(社会福祉協議会)

いつも大変お世話になっております、北区社会福祉協議会事務局長の横尾です。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(社会福祉協議会)

工藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(司 会)

ありがとうございました。

次に、本委員会についてご説明させていただきます。資料2の開催要綱をご覧ください。はじめに、本委員会の目的です。第1条、読み上げさせていただきます。

この要綱は、北区地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進していくにあたり、次に掲げることについて、市民、関係団体、学識経験者からの幅広い意見を聴取するため、北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催する。(1)計画に対する進行管理と評価に関する事。 (2)計画実践の支援に関する事。 (3)計画の策定に関する事。 (4)その他計画の推進に関する事となっております。

また、第2条、委員構成に、推進委員会は、委員20人以内をもって構成するとあります。今年度も、委員名簿のとおり18名の構成となります。

次に、第3条、委員任期にありますとおり、委員の任期は2年で、令和7年3月31日までが皆様の任期となります。また、委員は再任されることができ。ただし、通算の在籍期間が6年を超えて再任することはできないとなっております。

今年度は、任期2年目となりますが、組織内異動などの事情により1名の委員が新任となっております。昨年まで5年間、本委員会委員長を務めていただきました青柳委員が昨年度3月をもって大学を退職され、この推進委員会委員も退任されることになりました。青柳委員に替り、新たに新潟医療福祉大学心理・福祉学部社会福祉学科から渡邊恵司委員をお迎えすることになりましたことをご報告させていただきます。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

それでは、今年度初めて委員になられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様から自己紹介をしていただきたいと思います。普段の取組みや活動の様子なども、ぜひ、お聞かせください。

それでは、近藤委員から順番に願いたします。

(近藤委員)

松浜地区コミュニティ協議会福祉部の近藤と申します。よろしく願いたします。

福祉部の活動といたしましては、地域の茶の間ということで、松浜の市日、2と7の日につくのですが、毎月土曜日に地域交流ということで茶の間をやっております。ほかに、講演会や催し物等を年に一、二回やらせていただいております。

昨年度は、地域住民の方全戸にアンケート調査を実施いたしまして、回収率が約五十何パーセントでした。その中でいろいろな問題が出てきて、特に、70代以上の方が半数近く、70パーセントくらい、松浜地域はいらっしゃるの、高齢者の方々の問題というか、抱えていらっしゃる、生活上不便なこと等がアンケートから伺えました。ですが、その中

でも、高齢者に限らず、お子様をお持ちの方がやはり共稼ぎされているので、お子様を見守ってほしいという、特に学校帰りとか、学校へ行くときはどなたがいらっしゃるのですが、学校帰りになるとなかなか地域の方もいらっしゃらないということで、そこら辺何とかしてほしいというのがありました。

それで、1番は除雪だったのです。普通の除雪は入るのですけれども、自宅前の除雪、だんごろの雪がなかなか高齢者だけではどかせないということで、アンケートを取った中でこれが一番の困りごとでした。あとは、防災なのです。いざ何かあったときに、一人暮らしや高齢者だけでは避難できないので何とかしてほしいという、1等賞が除雪で2等賞が防災で、その他のところで子どもたちを何とか見守ってほしいというアンケート結果でした。

それを踏まえまして、なかなか自治会にお願いするには少し負担が重いということで、このたび、ふれあい会でアンケートを取った結果、支え合いしくみづくりを母体といたしまして、ボランティアを募ることにいたしました。そして、先回、第1回目の会議を開きまして、松浜地域はかわら版というものがあるのですが、そこでボランティアを募集して、その後、ニーズに合わせてそのところにボランティアを派遣するみたいな組織を立ち上げていきたいということになったのですが、やっと1回目の会議を先日開いたばかりですので、今年度に1個でも2個でもできればいいのかなと考えています。

濁川地区や南浜地区など、かなりやられているところがあるので、そういうところからお聞きしながら、松浜もこれからよちよち歩いて行きたいと思います。よろしくお願いたします。

(高野委員)

濁川地区の高野智子と申します。よろしくお願いたします。私は昨年度からこの委員になっているのですが、本当に昨年度から地域の活動に足を踏み入れるという感じで、本当にまだ素人で少しお恥ずかしい限りなのですが、最近の取組みをご紹介しますと思います。

福祉部では、高齢者のためにということで、毎年、健康体操などを実施しております。先日、第1回目がありまして、本当に会場に入りきらないとまでは言わないけれども、予定人員を大幅に超えるような方々にお申し込みいただきまして、とても大盛況でした。年に何回か実施する予定であります。

あとは、スマホ教室だとか、お年寄りのニーズに合わせた活動を福祉部のほうでは予定しております。

また、福祉部の中にある支え合いのしくみづくり班というものがありまして、先ほど松

浜地区からもお話があったのですが、そちらでは、防災というか災害時の対応であるとか、あとは除雪、やはり、課題は同じなのです。あとは、ごみ出しができないのだけれども頼みづらいみたいなお年寄りの対応について、今年度は考えていきたいと思いますということで、今、話し合いを進めているところです。

またよりよい地域のために活動していけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

(五十嵐委員)

よろしくお願いいたします。名簿4番の五十嵐と申します。地域コミュニティ葛塚連合から選出されております。ひとつよろしくお願いいたします。

私たちの活動といたしますか、私たちは支え合いのしくみづくりに力を入れてやっております。社会福祉協議会といろいろ連携をとりながら、喫緊の課題等に基づいて議論してきているところです。進んでいないところもあるし、進んでいるところもあるかなと思います。

今後とも皆さんと一緒に勉強しながら、地域の安心・安全のために努力したいと考えておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

(帆刈委員)

私はコミュニティ木崎村の帆刈と申します。よろしくお願いいたします。

私ども木崎の福祉部会ではいわゆる健康寿命を延ばしていこうということで、毎年力を入れてやっております。例えば、これも例年やっていることなのですけれども、今話題の、高野委員から話がありましたけれども、健康体操。これは新潟医療福祉大学の先生のご協力のもとで、年2回、来月と9月にやる予定です。これもまた皆さんお年寄りが主体なものですので、できるだけ外に出て運動してもらったり、皆さんと話をしようというのが一つの大きな目標です。そのほか、健康体操のほかに、秋には、笑いは健康からということで、新潟お笑い集団NAMARAの人をお願いして落語を聞く予定になっております。みんな来られる人がお年寄りで、なかなか参加するのも車に乗せてきてもらったりとか、自力で来られない人もけっこう多くいるのですけれども、大勢参加していただくにはその辺が一つの課題になっているのではないかと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

(藤田(登)委員)

岡方地区コミュニティ委員会で保健福祉部会を担当しております、藤田と申します。よろしくお願いいたします。

岡方地区では、一応、メインの取組みとしましては、いろいろ岡方サロンということで、

去年2月の下旬に実施させていただきました。今年度は一応、2回計画しておりまして、7月と8月、もしくは2月ということで開催を進めてまいります。基本的には、地域の皆さんの健康増進、それからいろいろな形の健康についての学びというところを取り入れて実施しております。さまざまな企業なり、また、市の関係の皆様からのご協力いただいて開催しております。

あと、フレイルチェックということで、そういうものも取り入れまして、定期的に、年度においてチェックをして、それからまたフレイルの増進、拡大ということで、そういう取組みも定期的にやっております。基本的には、地域の皆さんの健康増進を含めた、もしくは健康についての勉強会の中身も取り入れながら、今年度も実施していきたいと思っております。

引き続きご協力いただきますけれども、よろしくお願いいたします。

(上村委員)

8番の上村洋一といいます。よろしくお願いいたします。早通地域コミュニティ協議会です。私のほうは、あとで早通ささえ愛ネットの報告が途中で入ると思っておりますので、早通ささえあいの日、15日という話だけさせていただきたいと思っております。実は、2年くらい前から早通ささえあいの日というものを毎月15日と決めまして、活動しております。毎月15日になると、何らかの形で動いていると。それで、小学校中学校は、15日になると、小学校でいいますと先生から、中学校になると生徒会から、今日は早通ささえあいの日15日ですよという放送がなります。そのような形の中で、のぼり旗を出してみたりチラシを出してみたりしております。

今回、7月15日のささえあいの日には防災を考える日ということで、やはり災害が大事ではないかということで、今回、7月15日はささえあいの日、防災を考える日にしましたと。なかなか、3か月くらい前に、実は少しそういう集まりをやったのだけれども、7人くらいしか集まらなかったのです。今回は、山口クリニックの院長、山口先生、皆さんご存じの先生から司会をしていただきます。それで、よくテレビとかで放送してはいますが、60周年ということで、新潟地震を振り返るということで、そのときあなたは何をしていましたかということで、ポスターを張ったりしております。ただ、なかなか宣伝広報がうまくいかない部分がありまして、どのくらい集まるのかなという心配をしつつ、ささえあいの日をこれからも広げていきたい、啓発団体ですので、そのように思っております。

(参宮委員)

豊栄歩みの会という会の中から選ばれて、昨年度から委員をさせていただいております、参宮富美子申します。よろしくお願いいたします。

豊栄歩みの会ですけれども、主に、北区に在住している障がいを持っている子どもと親との会になっております。主な活動は、レクリエーションが多いのですが、学校を卒業して地域で暮らしていく中で、みんなで楽しいことをしていくという会になっています。また、親子一緒に研修会ということで、成年後見制度の勉強をするようなこともしています。新潟市の中でも手をつなぐ育成会連絡協議会というものがありますけれども、豊栄歩みの会もそちらに所属しています。今年度は、関東ブロックとって大きな会議もありますので、そちらのお手伝い等もさせていただきたいと思っております。

委員は任期満了するまであなたやりなさいということなので、しばらくお世話になると思います。どうぞよろしく願いいたします。

(小熊委員)

ごめんください。11番の新潟市食生活改善推進協議会から参りました、小熊美弥子と申します。どうぞよろしく願いいたします。

皆様の机上に配布させていただきました黄色い冊子、昨年度、共同募金会の助成を受けてこの冊子を作りました。食生活改善推進委員は食の健康ボランティアということで、あちこち行って茶の間や自治会にお邪魔して食のお話をさせていただいたりしております。今回は、子どもに向けて、小学生のお子さんがあるお母さんたちというか、北区内の11の小学校、そのころで3,407人いたのですが、世帯数ということで2,640世帯の方々にこの冊子を配布することができました。見ていただきますと、食生活改善推進委員の活動、あと、若いお母さんたちが仕事をしながら子育てするのは本当に大変なことなので、少しでも手抜きができたり簡単にできる食事をとということで、今回、掲載させていただきました。また、災害等でも活用ができるパッキングというものを、いろいろなコミュニティ等の防災訓練のところでデモをしたりさせていただいております。ですので、また皆さんのコミュニティのほうで必要があればお邪魔しますので、どうぞご利用いただければと思います。

それから、昨年度、この会議の中で食と運動は生きるために大事なことだということで、北区の食生活改善推進委員と運動普及推進委員と一緒に合同研修会をして、お互いの活動を知ることができました。本当にありがとうございました。今年もやりましたので、また今後も続けていきたいと思っております。

(佐藤委員)

皆さん、ごめんください。12番の佐藤正見と申します。北区民生委員児童委員連絡協議会の会長を仰せつかっております。

私どもの活動は、コミュニティ協議会とか各地域7地区に分かれていまして、そこに各

民生委員が 130 名ほどおります。それが見守り活動やらさまざまな支援活動を行っているわけですが、字のとおり、子どもから高齢者までということで、見守る対象がものすごく幅広いのです。しかし、皆さん、知恵を振り絞って頑張っております。また、詳しいことは、副会長が隣におりますので、じっくり語っていただければなと思います。またこれからも行政をはじめ社会福祉協議会、コミュニティ協議会などにお世話になりますけれども、よろしく願いいたします。

(熊田委員)

13 番の熊田克巳と申します。よろしく願いいたします。私も北区の民生委員児童委員連絡協議会の副会長をやらせていただいております。

基本的に、民生委員ということは、高齢者を見守る、訪問することを主に行っております。それで、そこに行っている間に高齢者からいろいろな話をお伺いして、それを関係機関につなげるのが主な仕事だと思って活動しております。あとは、コミュニティの活動も同時に行っているところではありますが、それについては自治会長と民生委員とで高齢者訪問をするだとか、いきいき健康体操をコミュニティで募集してやっているとか、そういうことをやっております。よろしく願いいたします。

(渡邊委員)

14 番、新潟医療福祉大学の渡邊恵司と申します。冒頭にもありましたように、青柳委員の後任としまして、私、参加させていただいております。どうぞよろしく願いいたします。

新潟医療福祉大学ですけれども、現在、6 学部 15 学科、学生数は 5,000 人を少し超えるくらいの規模の大学になりました。私の所属しております社会福祉学科ですけれども、以前までは社会福祉学部社会福祉学科だったのですが、今年度より心理学科が加わりまして、学部名も心理・福祉学部が変わっております。

日ごろより、地域の皆様方には学生が大変お世話になっているかと思います。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

(藤田(加)委員)

豊栄児童センターの藤田と申します。

北区内の子どもたち、豊栄児童センターにいつも遊びに来ていただいております。今年度変わったことというと、3月に葛塚東児童館が閉館したことによって、利用者が一時的に増え、豊栄児童センターは土日がぱんぱんの状態で遊んでもらっていたのですけれども、最近、天気がよかったりして皆さん外に遊びに行くのか、高学年がたまに来る程度になって、穏やかに遊んでもらっております。

最初に近藤委員からお話がありましたように、各地域の子どもたちの居場所が問題になっているというか、少ないというのが課題になっておりまして、今年度より出張児童館事業として豊栄児童センターから職員が各地域にお邪魔して遊び場を作るといような事業もさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

(岡村委員)

北区支え合いのしくみづくり推進員の岡村と申します。所属は北区社会福祉協議会です。支え合いのしくみづくり推進員ですが、私のほかに北区では3人おりまして、全部で4名の推進員がおり、それぞれの圏域を担当しております。私は北区全体を担当しておりまして、新潟市としては支え合いのしくみづくりを地域の茶の間を中心に考えておりまして、地域の茶の間の推進も進めております。

近年、私が携わっている中で感じていることが、北区全体として移動販売が多くなったなと感じました。特に北地区のほうでいろいろな移動販売がありまして、それこそ個別に回ってくれるところもあれば、居場所のところに行ってというところもありますし、お弁当が多かったり日用品が多かったり、あとは野菜も売っていたりとか、非常にバラエティに富んだ移動販売が非常に増えてきたなと感じております。ただ、裏を返せば、それだけ移動の手段を制限されている人が多くなってきているのだなと感じております。

昨年度からですが、北区社会福祉協議会のデイサービスの車両をコミュニティ協議会に貸し出すということも始めまして、地域でボランティアが運転を行って買い物支援を行うということも少しずつ始まってきております。そういったところが一つでも今後も増えていけばいいなと感じております。また、今年度に関して言えば、そういった事例をどんどん広げるためにも、事例集というようなものを作成していきたいと考えております。

日ごろから皆様の力を、ぜひ、協力していただきたく、こちらからもいろいろとお声がけをさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(大崎委員)

新潟医療福祉大学社会福祉学科の大崎恵実華と申します。

私は大学で農福連携ということで、近隣の障がい者施設とフリースクールの方々と一緒に、畑や緑地で活動を行っております。今後は、地域の方や引きこもりの方を対象として、地域の環境保全について考えていきたいと思っております。

本日は、至らぬ点多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(小川委員)

新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科の小川雄大と申します。

私の北区での取組みとしては、若草寮での実習経験を経て、今ではボランティアとして

参加させていただいております。北区ではないのですが、新潟市の障害者交流センターでボランティアをさせていただいたり、あと、就労支援もさせていただいております。これらの経験をベースに、学生ならではの視点で積極的に参加したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(司 会)

皆様、ありがとうございました。

それでは、ご紹介いただきましたところで、本会議を進めるための委員長についてです。青柳委員長がご退任され、その後、青柳委員長の後任として残任期間を引き継ぐという形でお越しいただきました、渡邊委員に委員長をお願いしたいと考えますが、皆様、いかがでしょうか。ご承認いただけるようでしたら拍手をお願いいたします。

(拍 手)

ありがとうございます。それでは、渡邊委員、よろしくお願いいたします。委員長席にご移動ください。

それでは、ここからの進行は渡邊委員長と五十嵐副委員長に交替させていただきます。よろしくお願いいたします。

(渡邊委員長)

委員長になりました渡邊恵司といたします。この会議の議事をスムーズに進行させていただきたいと思いますので、皆様のご協力のもと、進めさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、次第に沿って進めさせていただきます。3、計画推進のための取組み状況についてです。はじめに、北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2021の第3章にあります北区全体計画について事務局から説明いただき、その後、第4章、地区別計画につきまして、各地区での状況について、各地区の地域福祉座談会のようすや令和6年度の取組計画など、委員の皆様からお聞かせいただきたいと思います。

では、まず、北区全体計画について、事務局から説明をお願いいたします。

(健康福祉課課長補佐)

事務局の高橋です。説明させていただきます。

北区全体計画の内、北区健康福祉課分について、令和5年度実績および令和6年度計画につきまして、資料3、令和5年度計画推進のための取組み(3月末現在)の内、自己評価がCとなった事業について、担当係長から説明させていただきます。なお、この自己評価につきましては、昨年度の会議におきまして、田邊委員よりご意見いただいたことを受け、2021年から2026年までの6年間の計画であります、この北区すこやか・あんしん・

支えあいプラン2021の中間の3年目に当たる年でもあったことから、6年計画の中間評価として行ったものになります。

それでは、資料3の7ページ、福祉サービス制度等の周知、9ページ、地域包括ケアシステムの推進（「支え合いのしくみづくり会議」の開催）の二つの事業について、担当係長から説明させていただきます。

（健康増進係長）

健康増進係の川崎と申します。健康増進係からは、資料3の7ページの2、福祉サービス制度等の周知について説明させていただきます。

概要にありますとおり、市民向けに新潟市が作成いたしました在宅医療に関するパンフレットというものがあまして、それを活用して新潟市在宅医療・介護連携ステーションが地域の皆様への出前講座などで福祉制度や在宅医療を実施する医療機関の情報を周知いたしますというもので、年間2回の実施を目標としていたところです。北区では、豊栄病院の中にあります新潟市在宅医療・介護連携ステーション北が担当となりまして、令和5年度については、実施状況にありますように、10月に尾山自治会から依頼がありまして、出前講座を実施しております。大変好評だったと聞いております。こちらについては、地域の茶の間などの皆様からのご要望やご都合によったりもいたしますので、令和5年度はこの1回のみの実施だったということで、評価がCになっております。

令和6年度につきましては、資料7の2ページ目に、同じく基本目標2、基本方針1の2番目で福祉サービス制度等の周知というように令和5年度と同様に記載しておりますけれども、令和6年度も年に2回の実施を目標としているところです。豊栄病院の連携ステーションの方にお聞きしましたところ、今年度は社会福祉協議会主催の講座の中で、このパンフレットを使用した在宅医療に関するお話をする機会がすでに1回あったと聞いております。また、在宅医療に絡めて、健康寿命延伸に向けた運動や健康づくりの話もしていただきだったり、介護に関する部分は地域包括支援センターと日ごろから連携しているとお聞きしておりますので、地域や関係機関とのつながりの中で、こういった実施の機会をとらえていけるように、引き続き健康増進係としても協力していきたいと思っております。

（高齢介護係長）

高齢介護係の滝沢です。私からは、資料3の9ページ目、基本目標2、基本方針2の2番目、地域包括ケアシステムの推進についてお話しいたします。

令和5年度は、計画的に会議を開催して、関係者のネットワーク化や地域ニーズの掘り起こしを進めるというところが概要ですが、会議の回数ということで、例年、目標を作っ

ておりました。令和5年度につきましても、1層の会議が2回、2層が8回で載せてあります。実際、そこまで会議の回数が行われず、割合を見ましたら80パーセントまでいかなかったのが、Cの評価をつけました。目標回数自体が、何年か前にはこのくらいの回数の会議が実施されていたのですが、その後は徐々に地区ごとに会議を開催してそれぞれの活動を進めてくださっているという動きになっておりました、各地区の動きを大事にして、全体の共有の会議という形では少なくても大丈夫ということで、回数が減ってきたところがあります。

令和6年度につきましては、資料7の基本目標2、基本方針2の2番目に記載されているのですが、今の会議の実態に合わせた目標回数を載せることにいたしました。

(渡邊委員長)

よろしいでしょうか。

続いて、社会福祉協議会からお願いいたします。

(社会福祉協議会)

北区全体計画の内、北区社会福祉協議会分について、令和5年度の実績については私、横尾から、令和6年度の計画につきましては工藤から説明いたします。

まずは、令和5年度実績について、資料3の5ページをご覧ください。5ページの表の一番下6番の緊急情報キット配布事業助成です。よくご存じの方もいらっしゃいますけれども、初めての方もいらっしゃいますので、緊急情報キットを説明しますと、その名称のとおり、緊急連絡先やかかりつけ医など、緊急時に役立つ情報が記載されているカードが入っており、緊急時に役立ちます。また、情報の更新や使用方法の確認などで定期的に訪問することで、見守りをする機会のツールの一つとなっております。この助成事業は、表の概要の記載のとおりですが、自治・町内会における見守りネットワークの強化を図ることを目的とした事業となっております。

目標は500世帯としておりましたが、実施状況等につきましては、昨年並みの311世帯となり、自己評価はCとなりました。キット助成を説明する研修等が中心になったこともあり、申請数は伸びませんでした。今年度はさまざまな会議や会合等に積極的に参加して事業周知を図り、活用を促進してまいりたいと思います。

次に、16ページをご覧ください。これも表の下段、3番のサマーチャレンジボランティアスクールについてです。概要は記載のとおりです。全区社会福祉協議会の取組みとして、本部も一体となって実施していた事業なのでしたが、令和5年度に事業自体が中止となりましたので、評価としてはCとなります。中止の経過を説明しますと、新型コロナウイルス感染症の影響でサマーチャレンジボランティアの主な活動場所である福祉施設等の受け

入れが困難になりました。そこで、規模を縮小する形で開催しておりましたけれども、令和5年度になりまして新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、施設の受け入れは再開のめどがなかなか立たないということで、事業中止に踏み切りました。ただし、せっかく学生とのつながりができたということで、ほかの事業の中で学生ボランティア活動を積極的に呼びかけて、参加の機会といたしました。

次に、21ページをご覧ください。4番、北区災害ボランティアセンター研修会です。令和5年度の実施状況に記載のとおり、日時も内容も講師の手配もして企画しておりましたが、元日に起こりました令和6年能登半島地震の関係で講師が災害支援のために現地入りをする事になりまして、中止となりました。その結果、評価はCとなります。

その他、資料6に令和5年度主要事業の報告がありますので、後ほどご覧ください。

(社会福祉協議会)

それでは、私、工藤からは資料9、令和6年度北区社会福祉協議会主要事業についてご説明いたします。

主に6事業をあげておりますが、ページ数でいきますと3ページから6ページまでの4事業について説明いたします。

はじめに、3ページをお開きください。自治・町内会長地域福祉研修会についてです。事業の目的ですが、新潟市社会福祉協議会の会員会費のとりまとめをお願いしている自治・町内会の代表者に、地域福祉についてさらに理解を深めていただくとともに、北区社会福祉協議会の事業等について説明する機会として行うものです。

今年度は10月8日火曜日の午後、北区文化会館を会場に開催します。対象者は記載のとおりです。内容ですが、今年度は、平時における防災・減災に向けた地域づくりをテーマに、講師はオフィス園崎の代表、園崎秀治様から基調説明をいただき、活動紹介では、西区と北区の実践事例の紹介を予定しております。例年、健康福祉課と共催で開催しておりますが、今年度は防災がテーマのため、地域総務課との共催で開催いたします。

続いて、4ページをお開きください。地域福祉座談会についてです。事業の目的ですが、北区すこやか・あんしん・支えあいプランの主に地区別計画の推進のために、各地区社会福祉協議会、コミュニティ協議会の圏域ごとに開催し、各地区の見守りや生活支援の実施など、具体的な取組みにつながることを目的としております。

開催日程等については、各地区との相談のうえ、8地区での開催を予定しております。

続いて、5ページをお開きください。ボランティアきっかけづくり事業についてです。事業の目的ですが、ボランティア活動に興味、関心がある人を対象に、ボランティアをする人も受ける人も、共に楽しく安全に過ごせるよう、ボランティア活動を行う際の基本的

な考え方や、支援が必要な方へのサポート方法を学ぶ機会として実施するものです。

今年度は全部で3回の内、明日29日土曜日に第1回目を予定しております。長浦コミュニティセンターの利用促進事業の一環で、コミュニティセンターが主催、北区社会福祉協議会と岡方・長浦圏域の第2層協議体が共催で行う予定です。

続いて、6ページをお開きください。ボランティアカフェについてです。事業の目的ですが、月に1回、ボランティアやボランティアをしてみたい人、障がいがある人などが広報誌などの折り込み作業を行いながら、出入り自由に交流できる場、ボランティアカフェとして開催するものです。ボランティアの育成につながるよう、ボランティア相談も実施しております。

事業内容ですが、毎月第4木曜日の午前中にさわやか老人福祉センターを会場に行っております。昨日、調度開催日でしたが、13名の方が参加していかれました。個人の方が5名、施設の方が8名のご利用でした。また、その内、新規でいらした方も2名いらっしゃり、また、今後も参加したいという意向が聞かれています。

外出の機会や他者との交流の機会、また、社会参加の機会として、今後も継続して開催していきたいと思えます。

説明は以上です。

(渡邊委員長)

ご説明いただきまして、ありがとうございました。

ただいま説明がありました北区全体計画の計画推進のための取組状況について、質問やご意見がありましたらご発言をお願いいたします。また、資料は事前送付でしたので、事務局から説明のあった部分以外も含めて、お気づきの点がありましたらご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

(佐藤委員)

質問ではないのですがけれども、たまたま昨日、民生委員で15年以上の中堅民生委員の会議がありました。それで、今、社会福祉協議会から説明があった防災の行事、たまたま災害が発生して中止になったのですけれども、講師に頼むつもりの方がお見えになりまして、しっかり1時半から3時半まで、防災についてたたき込まれてきたばかりです。

それで、そのときに、災害の時に民生委員がどのようにして携わればいいのかということ具体的な例を挙げてもらって説明を受けたのですけれども、やはり、災害に遭った人はなかなか自分から助けてくれとは言いつらいというのが私の頭に残ってしまっていて、こちらから困っていますかみたいな感じで尋ねるのがいいというような話でした。ぜひ、これを今年やるのであれば、また具体的な資料を手元に置いてもらって説明を受けたほうがいい

と思います。あの方は忙しそうで、なかなかつかまらないかもしれません。

(社会福祉協議会)

ありがとうございます。今年も李先生にお願いしようと思っています。7月7日に関川村で防災フォーラムがあり、李先生が講師として行かれるので、そこで講師依頼をして日程調整をする予定です。

(渡邊委員長)

ご意見、ありがとうございました。

(五十嵐副委員長)

5ページの緊急情報キット配布事業の助成なのですが、非常にいい制度だと思うのですが、もう何年も経過しているのですけれども、活用方法を何か、実際的にこういうものであったよとか、そういう情報も流したほうがいいのかなどという気がしているのです。というのは、何かの時に救急車が来たときに、ほとんどそれを見たことがないと。消防署の意見を聞くと、それを見たことはほとんどないということです。それと同時に、冷蔵庫の中に入れておきなさいというのが原則のようなのですけれども、冷蔵庫というのはどうなのでしょう。その辺の関係もあるのだと思うのですけれども、活用が、その辺がネックになっているのかなと。あとは、後フォローがなっていない。私どものコミュニティとか、担当の努力が足りないのだと思いますけれども、それを含めて活用方法、いい制度です。何かあったときに命を救うというか、そういう状況にありますので、再考が必要なのかなと。ただ配布するという形ではなく、その辺も含めて情報も併せてやったほうが効果的のかなという感じがしているのですけれども、いかがでしょうか。

(社会福祉協議会)

ご意見、ありがとうございます。まさに今おっしゃるとおりの課題が実際にあり、消防署の方が見たことがないという話は私も聞いておりました。この事業がスタートしたときに消防署に情報共有して周知し、そのときは大変いい事業だということで周知できたようなのですが、それ以降、継続的に消防署へのアプローチができていないようです。また、冷蔵庫の中ということなのですが、冷蔵庫の中を見られたくない方が多くいらっしゃるようです。また、そして冷蔵庫のどこにそれがあるか、奥のほうに入っていたりするとわからない状態です。それで今、ほかのところでは、筒型のものと袋型のものを2種類準備しているようなので、そのところも含め、一度、どのように活用されているのか、実態調査をしたいと思っていますところです。

社協本部でも、緊急キットのあり方がどうなのかということが、議題で上がっていたところです。その辺も含め、地域の皆様のご意見も伺いながら、今後のあり方を再検討し

ていきたいと思っておりますので、その際はまたご協力をよろしくお願いいたします。ご意見、ありがとうございました。

(熊田委員)

同じ緊急キットの話なのですが、これは葛塚地区はほとんど行き渡ったのではないかと思います。これはCランクになっていますが、あとはどの地区が少ない、行っていないとかはありますか。

(社会福祉協議会)

すみません、今、情報が手元にはないのですが、北地区全域には行き渡っていない現状です。まだ緊急キットを利用していない地域もありまして、私どもの周知不足なのですが、今、今はどの地区が少ないかということは回答できず申し訳ありません。後ほど、何らかの形でお知らせしたいと思います。

(渡邊委員長)

ほかにいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、続きまして、北区すこやか・あんしん・支えあいプラン 2021 の 45 ページ以降に記載のあります地区別計画について、各地区で行われた昨年度の地域福祉座談会の様子や、令和 6 年度の取組計画などについてお聞かせいただきたいと思っております。

はじめに、松浜地区の近藤委員、お願いいたします。

(近藤委員)

北区地域福祉座談会ということで、先ほどのあいさつのときにもお話ししましたが、座談会ではアンケート調査をその前に実施していきまして、その結果が出ておりまして、町内ごとの結果も出ておりまして、それを踏まえて座談会ということでやらせていただきました。

先ほど言ったように、とても広範囲にいろいろな話が出たのですが、ではどうするかというところが、やはり、詰めができていけませんので、これから、先ほど話したのですが、支え合いのしくみづくり会議のメンバーを募って実施していく予定です。なので、地域の活動とか自治会のようすとか、松浜は自治会とコミュニティが別々に活動しておりますので、自治振興会のほうがもちろん古いのですが、コミュニティを立ち上げたのは北区が始まってから立ち上げたので、コミュニティのほうが若いといえば若いのですが、メンバーも自治会長の集まりのほうは年齢がいった方がけっこういらっちゃって、コミュニティは少し若い人たちがいるという感じで、そこと自治会とコミュニティのメンバーと一般の町内会の人たちと、どのように協力しながらやったらいいのだろうというの

が一番です。どこでもそうだと思うのですが、特に、若い人たちがなかなか参加できないという現実があります。若い人たちも参加してもらえるようなメンバーにしていきたいということで、このたび、先ほど申し上げましたが、1回目の会議をしたのですが、PTAの役員をされていた若い女性の方とか男性の方とか、そういう方々にもメンバーに入っていて、要求を聞いていきたいと思っております。

あと、学生に2名参加していただいているのですが、地域に大学があるということはとてもありがたいことだと、私も役員になってからまだ2年目に入ったところなのですが、この間、市場で地域のお祭りがあったときも、大勢の学生がボランティアとして来てくださって、こういう人たちが町を活性化させていくのだろうというように、とても思いました。なので、医療福祉大学、島見の大学と言ってしまうのですけれども、あそこにあるということが、やはり、北区にとってはとても心丈夫なのではないかと思えます。今後もぜひ、学校に戻られたら、ボランティアを一生懸命やるように活用してください。

(渡邊委員長)

ありがとうございます。

それでは、南浜地区の鈴木委員は欠席になりますので、濁川地区の高野委員、お願いいたします。

(高野委員)

お願いします。濁川地区の地域福祉座談会は、令和6年1月14日に開催いたしました。濁川地区では、広く地域の方の声を集めようと。あと、このプランがなかなか周知されていないとか、1年たってまた忘れるみたいなことの繰り返しということもあって、できるだけ多くの方に知ってもらいたいという意味もありまして、多くの団体の方から参加していただいております。今回もコミュニティ協議会関係者を中心に小中学校の関係の方、それから民生委員、あと、自治会長など、合わせて40名以上の方からご参加いただきました。

当日は、参加者の方々には6グループに分かれてもらって、グループワークという形で話し合いを行いました。この中の濁川のプランには四つの課題が挙げられているのですが、今回は、散漫にならないようにという意味もあって、特に問題としてふだんからより多く聞こえてくる隣近所との関係、それから身近に集う場所が分からない、あと、除雪災害時の避難に不安があるという、二つの課題に絞って話し合っていました。

開催したのが1月1日の地震のすぐあと、1月14日ということで、かなり災害時の対応とか備えとか、そういう、ふだんから地域でやっておくべきことなどについて、問題点や課題、またアイデアがとてもたくさん出されました。みなさん大変活発に発言されて、有

意義な課題になったと思っております。また、話し合いの中で、防災、災害対策と隣近所との関係づくりが本当に密接に関係していて切り離せない大切なものだというのを改めて強く感じました。

それを受けて、今年度は、身近に集う場所が分からない、除雪災害時の避難に不安があるということにかかわる活動を、それぞれの団体に計画、推進してくださいということをお願いしてあります。なので、今、例えば、コミュニティ協議会の安全部などでいろいろ、災害時の対応について計画を推進されているところです。あと、支え合いのしくみ会議でもそれについて話し合っているところです。本当に難しい課題で、すぐに何か結果出るとかそういうものではないとは思いますが、とりあえず、今、地震に遭って皆さん不安に思っているところを、何とか解決の形につなげていくというようにしていけたらいいなと思っております。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

続きまして、葛塚地区の五十嵐副委員長、お願いします。

(五十嵐副委員長)

葛塚地区、私も連合で中央コミュニティ協議会と私が所属している東コミュニティ協議会、あと、太田コミュニティ協議会の三つで連合を組んでいるのですけれども、私は東のことについては若干のお話ができるのですけれども、中央、太田の関係についてはあまり承知しておりませんので話ができないのですけれども、東のことについて。太田のほうでは買い物弱者の関係で現実的に行動により実現したというのが一つの大きな成果なのかなと思っておりますし、私の東のほうは、毎年、どちらかという支え合いのしくみづくりに力点を置いていまして、いざという時になったらどうしたら人を助けられるのかという視点の中で協議を、同時に、いざという時はどういうことかという、まず、災害時ということが一番皆さんの共通認識の中で関心を持てるのではないかとということで、そこを中心にやってきて、非常に意見は出ています。継続して会議をやっていくことは意義があるのかなと。

それで、自治会数も多いものですから、このことをやればというかそういう結論にはならなかったということと、課題としては、メンバーが大体、コミュニティの推進員の皆さんとか、自治会長が固定しているということなのです。その中でも、それぞれ各コミュニティ協議会としても何かの機会に、自治会長の会議とか、そのような形の中で、座談会の報告だとかそういった情報提供をする中で、それぞれの特色を生かしながらやっていただくということで、私ども、そういう認識をしています。継続して今年も、大きな地震もあ

りましたので、非常に関心が高い部分がありますので、引き続き、弱者、高齢者の支援とか、そのような形の中で力点を置いて進めていければと思っておりますし、目下その辺についての計画もそれぞれ進んでいるようでもありますので、その計画に基づいてやっていきたいと考えております。報告にあったような気もしましたので、ひとつよろしくお願い申し上げます。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

それでは、木崎地区の帆刈委員、お願いいたします。

(帆刈委員)

木崎地区では、12月12日に地域福祉座談会があったわけですがけれども、座談会には出席しなくて、内容的にどういう話があったのかは、申し訳ないのですがけれども、分からない状態です。ただ、この座談会の内容を、この間いただいたものを見せてもらうと、地域で見守り、助け合いができるということで、先ほども緊急キットの話がありましたけれども、これも自治会によってものすごく緊急キットが行き渡っている、配布している自治会とそうでない自治会でもものすごく差が大きいのです。だから、少ない自治会をいかに大勢の方に利用してもらうかということとか、あと、民生委員と自治会の役員と協同で見守り隊をこれからも協力して見守っていきたいところです。

あと、子ども、ほかの地域の交流というところですが、私のほうにはどんど焼き、賽の神もけっこう盛んな地域もありますし、いろいろな事情でできない地域もありますけれども、ただ、私のほうには、自治会でアメリカシロヒトリ予防とか、側溝の掃除とか、毎年側溝掃除を自治会によって何年に1回というのが決められていると思いますけれども、そういうことで、皆さんの隣組を皆さん参加してもらって、そういうところで、ふだん、顔を合わせない若い人とか、そういった人といろいろな話をしたり何かするのにいい機会ではないかと、私は思っております。

あと、そのほか、先ほど申し上げたように欠席いたしましたので、私が今感じていることを報告させていただきました。ありがとうございました。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

それでは、岡方地区の藤田委員、お願いいたします。

(藤田(登)委員)

岡方地区ですがけれども、開催は去年の11月28日に開催させていただきました。社会福祉協議会のご協力をいただきながら、部会のメンバー、それから民生委員、自治会関係者

の皆様ということです。8班に分かれまして、目指す姿、岡方地区も四つの姿を目指す姿として掲げておりまして、その項目に従って2グループずつ4班に分けてという形で、8班が参加しております。やはり、それぞれの目指す姿の課題抽出ということで話をさせていただきましたが、やはり、同じような課題等が出てきているということです。一つの目指す姿について2班ずつで検討しながら、発表会形式でやらせていただきました。同じような形のそれぞれの問題点が抽出されたということでもあります。

では、今年度、どのような形で抽出した課題について解決していくのかということですが、具体的にまだしっかりとした計画はないのですが、引き続き社会福祉協議会からご協力いただきながら、地域独自の取組みを含めまして、さまざまなそういう部分の問題意識の解決、課題の解決に向けて一つ一つ取り組んでいければと思っております。部会だけでできる問題ではありませんので、自治会なり民生委員の方も含めて、地域全体で引き続き取り組んでいきたいと思っております。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

続きまして、長浦地区の相馬委員は欠席ですので、早通地区の上村委員、お願いいたします。

(上村委員)

早通地区の上村です。よろしく申し上げます。

早通地区は2月26日になります。参加者26名ということで開催しました。今年の特徴は二つあります。一つは参加者が増えた、前もって事務局会議というかコミュニティ会議で決まったのですが、参加者を増やそうということが一つと、もう一つは活動報告をしてもらおうということで、話をさせていただいております。一つは、会長から民生委員の活動報告をしてもらいました。もう一つはささえあいネットの代表ということで、私から、10分間ですが話をさせていただいております。

私のささえあいネットの話の中では、新しく副会長、コミュニティの副会長、連合、自治会の会長なのですが、自分で来られた方ですが、その方が、当面、まとめがあるので、まとめに岡村委員が作ってくれたと思うのですが、そこにささえあいネットの広報誌を配布していますという話と、今回、活動者の言葉を添えるだけでこんなに魂を伝えられるのだと感じた。自治会へはもれなく配布しているが、今回聞いたことを総会で伝えたいと思うということで、今回、自治会長が何人か、コミュニティ連合会の副会長ですが来ていただいたおかげで、その辺のささえあいネットの理解が深まったのかなと感じています。

それから、取組みについて報告させていただきたいのですけれども、実は、6月4日に早通南小学校4年生に福祉の授業をさせていただきます。これは社会福祉協議会の岡村委員からいろいろな、前段階、いろいろ福祉の授業をしてもらった、それを受けて地域でどういう活動をしているかということで、ささえあいネットの授業をやらせていただきました。その中で、授業お礼ということで、校長先生名義で来ております。少し読ませていただきます。

おかげさまで大変有意義な学習をさせていただきました。実際の活動の写真や配っていただいた資料を基に説明してくださったので、子どもたちに分かりやすく、早通ささえ愛ネットの目的や活動を理解することができました。特に、早通地域には高齢者の人数が多いことを知って驚き、地域の高齢者の幸せを願って困りごと解決のお手伝いをされていることを知り、大きくなったらボランティアに参加してみたいという思いを持った子どもが多くいましたという報告。あとは割愛させていただきます。

もう一つは、4年生の子どもがお礼状というか、感想を書いてくれました。だれに、何を、だれがなどのことについてよく分かりました。いろいろな世代のボランティアがいろいろなお手伝いをなさっていて、高齢者の方も安心できるなと思いました。65歳以上の方が2,990人いるなんて、とても多いなと思いました。楽しいからという理由でお仕事ができるなんて、どちらもうれしい気持ちになる楽しい仕事ということが分かりました。優しいまちづくりのお手伝いをしてみたいです。ということで、私たちの授業について感想を述べてくれました。

私たちは、活動して大変なときもたくさんありますけれども、こういう気持ちを子どもからいただいたり学校からいただいたりすると、また頑張っていけるかなと思っております。

それで、最後にもう一つなのですけれども、実は、ささえあいネット、私たちはチラシとささえあい通信を出しています。さらに、今回、リーフレットを作りました。これなのですけれども、みんなで支え合えるやさしい町早通地域を目指すネットワークということで、実は、やはり、一番大事なのは、ここで2021でもって出ている私たちが目指す姿、先ほども話がありましたけれども、私たちの中ではみんなで支え合えるやさしい町というのが出ています。それで、お題目に終わらせないで、これをどのように実現していく、具体化していくかということの中で、これを昨年度あたりから一生懸命やり始めて、話を始めているのです。そういう形の中で、早通地域の中でみんなで支え合えるやさしい町の実現を少しでも寄与していきたいなど、このような活動を始めております。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

各地区からご報告いただきました。ありがとうございました。この内容につきまして、質問や意見がありましたらご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

(佐藤委員)

これは質問ではないのですけれども、濁川の、うちと同じ民生委員で、コミュニティ協議会でも頑張ってもらっている高野委員ですけれども、うれしい報告が一つと、少し困った報告が一つなのですけれども、濁川の新崎駅に、来月の5日にエレベーターが東西につくようになりました。すごい階段ですよ。お年寄りがすごい階段を上って改札口まで行かなければならないのです。それが今度、エレベーターが両側にできたので、ものすごい支え合いの大きな事業だなと思ひまして、報告させていただきます。

それと、少し困ったのは、高野委員が先ほど言っていた、公民館で茶話会とかいろいろやるのですけれども、今から10年前に来ていた元気な人が、今度は階段が上れなくなってきて、どんどん数が減ってくるのです。それで、同じエレベーターでも、あそこは建物自体がかなり古いので、恐らくエレベーターとかそういうものはできないと思うのですけれども、あの階段がなければお茶飲みに行きたいという高齢者が大勢いるのです。そういうものは業者に頼むしかないと思うのですけれども、そういう事情が生じてきたということだけは頭の中に入れておいてもらいたいと思います。

(渡邊委員長)

ありがとうございます。新崎駅にエレベーターがついたといううれしい話と、公民館、なかなか階段が上りづらいというお話です。ご意見として承りたいと思います。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。先ほどから、若者のという話で、今日、二人来ておりますけれども、大崎委員は、地域の方との交流とかそういうものはありますか。

(大崎委員)

私自身、地域での交流はあまり感じていない部分が大きくあります。顔の見える関係づくりを推進する町ということを目指す姿に掲げていると思うのですけれども、大学生はやはり、私自身もまだ引っ越してきて1年と少しくらい北区に住んでいて、しかし、4年生ですので、また就職して離れる、永住するということを念頭に置いていないので、あまり地域への活動に積極的に参加しようと思う大学生も少ないのかなと、残念ですけれども、思います。

あと、除雪に不安があるという部分は私も本当に思っていて、私も車なのですけれども、1時間2時間、自分で掘り起こして、それから学校に行くと間に合わないとか、そういつ

たこともあるかなと思います。

あと、地元が長岡なのです。田舎なのですけれども、そういったところは周りとの接点が多く過ごせていたかなと思います。そういうものは、大学生がいたら、先ほどのようにボランティアの参加であったり貢献できる部分も大きいと思うのですけれども、いることによって逆に希薄にさせてしまっている部分があるのかなと感じている次第です。

(渡邊委員長)

ありがとうございます。

小川委員も北区に住んでいるのですけれども、お願いします。

(小川委員)

私自身も、正直、地域とのつながりは、自分のアンテナの問題もあるかと思うのですが、そこまで感じることはできていません。

ただ、少し逆の意見になってしまうのですけれども、新潟医療福祉大学のボランティアの参加意欲は比較的高いのかなと思っています。というのも、私の友人はボランティアにけっこう積極的に参加しているのですが、友人が知っているのですけれども私は知らないみたいな、学科で周知に差があるのかなと思っています。大学がイベントの紹介を受けてどのように案内しているかは分からないのですけれども、どの学科も地域のイベントに参加する意義はあると思うので、社会福祉学科に限らず、いろいろな学科の方が参加すればいいのかなと思いました。

(渡邊委員長)

ありがとうございます。

お二人の若い意見ということでしたけれども、ボランティアを一生懸命、多分、大学はされていると思いますけれども、それも大切ですし、その住民としての大学生といますか学生という声も大切なのかなと思います。お二人からご意見をいただきました。ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

小熊委員、一言いかがですか。すみません、青柳前委員長から、委員の人には一人一言言って帰っていただくようにという引き継ぎがありまして、申し訳ありません、一人一言いただければと思います。

(小熊委員)

ありがとうございます。今の意見というか、今日、島見地区の方は来ていないので、南浜地区の方が来ていないので、太夫浜地区とか濁川地区などは新入生がいらっしやると歓迎会をしたり、それから、卒業生を祝う会とか、地域と連携していると思います。

それで、私の住んでいる町、駅の前なのですけれども、公民館も新しくなったので、近くに住んでいる学生に来てもらって一緒にバーベキューをやったりしたいねと。それで、学生は 500 円とかとても安いので、チラシを出しているのですけれども、やはりなかなか来ていただけないという状況があります。それは渡邊委員長にこれから相談していこうかなとは思っていたのですけれども、せっかくこの 4 年間、この地に住んでいくわけですから、交流できて楽しく過ごしていただきたいなというのが私の意見でもありますし、プライベートで子ども食堂をやっていて、ずっと 4 年間来てくださって、それから長野のほうに帰られて結婚したよと言ってあいさつに来てくれたボランティアの子もいるので、いろいろな学生たちの考え方もあるとは思っているのですけれども、地域も受け入れています。ですので、ぜひ、参加してほしいなと思いますので、よろしくをお願いします。

それと、先ほど、最初のあいさつで熊田委員がお話ししたのですけれども、中央コミュニティ協議会、私は副会長をしまして、その中で見守り、6 月は民生委員だけでお一人暮らしと高齢者世帯で心配なところを民生委員と自治会長と一緒に回ります。なぜ一緒に回るかというと、個人情報があって、ここに一人だよということを自治会長に伝えられないというお話がありまして、それで、一緒に回って、特に教えてはいないのですが、一緒に回って、10 月には今度、自治会長だけで訪問するという働きかけをしております。それで、今、今度、中学校も一緒に何かやりたいということで、光晴中学校の校長先生からお話をいただいておりまして、一緒に訪問はできないが、お手紙を書いたり、そのときに持って行ってもらうように考えていきたいというように、今、お話をいただいております。いろいろなかわりができるのかなと思っていますので、少しご紹介させていただきました。

(渡邊委員長)

ありがとうございます。

参宮委員、いかがでしょうか。地域の中のお話でもかまいません。

(参宮委員)

先ほどの話に戻ってしまうのですけれども、学生の地域のかかわり、活動ということで、正直、年ごろの娘を持っている親としてみると、少し先ほどの、個人情報という話も出たのですけれども、あまり、若い女の子が住んでいるという情報が流れるのは少し心配な面もあったりするのですが正直なところなのですけれども、やはり、いい形で地域とかかわって、学生にもかかわってほしいと思うのです。例えば、地域の事業所、障がい者の通っている福祉施設とか、あと、高齢者の方がいらっしゃるようなところにボランティアに行っていたらうれしいと思います。

ただ、本当に地域としては高齢化が進んでいて、自治会の役員も民生委員も本当に、民生委員が災害時の要援護者の名簿に名前を載せなければいけないのではないかみたいな状況になっている中で、どうしても若い力というのは必要になってくると思います。やはり、働き方改革ではないけれども、お勤めしている方、それから雇用している事業所とか、北区にもやはりいろいろな事業所があると思うので、法人とかにも働きかけて、働き方改革で地域とのつながり、福祉へのボランティア活動に対しての、例えば、ボランティア休暇とかそういうものをもっと率先して取り組んでいただけたらと思います。北区内だけではなくて、新潟市の事業所も変わっていったらいいなと思います。感想です。

(渡邊委員長)

ありがとうございます。

それでは、児童センターの藤田加菜委員、一言お願いいたします。

(藤田(加)委員)

地域の皆さんのさまざまな取組みをお聞かせいただき、ありがとうございました。今日、お話を聞いていて、児童センター自体が地域の方と交流できているかと言ったら、あまりできていないなと感じてしまいました。私自身は中学校だったりあちこち行かせてもらってはいるのですけれども、館としてボランティアを受け入れたり、学生に来ていただいたりという機会がコロナ明けからかなり少なくなっております。今後の課題として、ぜひ、皆さん、お話をさせていただいて改善していきたいと思っております。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

そのほか、いかがでしょうか。ぜひ、発言したいという方はいらっしゃいますか。

よろしいでしょうか。それでは、次第の5、その他につきまして、支え合いのしくみづくり会議のようすを岡村委員からご紹介いただきたいと思います。岡村委員、お願いいたします。

(岡村委員)

岡村です。よろしくお願いします。

資料につきましては、本日、机上に配付させていただきました北区役所だより、令和6年2月18日発行号をご覧ください。もし本日お持ちでしたら、北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2021の43ページをご覧ください。もしくは、概要版の裏面を併せて見ていただければと思います。

先ほどのあいさつのときにも少し説明させていただきましたが、北区では、支え合いのしくみづくり推進員が4名、圏域ごとにおりまして、私は北区全域を担当しております。

支え合いのしくみづくりと北区すこやか・あんしん・支えあいプラン 2021 の関係性は 43 ページになりますが、地域福祉計画、また、地域福祉活動計画を同時に進めるうえで、区役所、区社会福祉協議会、地域が連携して行っていく中で、計画推進委員と、また、先ほど説明させていただいた地域福祉座談会、今年も 11 月ごろから開催を予定させていただいておりますが、こちらと支え合いのしくみづくり会議ということで、横串を刺すような形で連携して進めているところで、支え合いのしくみづくりもこの計画については必要不可欠なものとして考えております。

北区役所だよりに戻っていただきまして、真ん中よりも少し下のところのオレンジ色の四角の中ですが、「支え合いのしくみづくり推進員・会議ってなに？」ということで、こちらは各圏域で、現在は大体年に 1 回から 2 回、会議を行っております。以前ですと、年に 3 回から 4 回の会議を行っていましたが、どうしても会議だけが先行してしまって、なかなか地域での動きがとれなかったということがありましたので、現在では、会議のほかにも各部会であったりそれぞれの団体で活動を行っております。ただ、会議が少なくなったことによって、地域で活動が止まっていることではなく、それぞれ会議を行わなくても活動が非常に高まってきているということです。会議は圏域ごとに集まって行うものですが、どうしても地区ごとに課題であったり問題が違うということもありますので、それぞれの地区ごとの部会でそれぞれ活動を進めていただいて、会議のほうでそちらの活動の報告であったり問題の共有を行っております。

その上になります、ピンク色の四角になります。令和 5 年度の活動の内容を少し載せさせていただいております。左から、「支え合いのしくみづくり会議構成員の研修会」です。それぞれの圏域での構成員の情報共有であったり交流はありましたが、北区全体でということは今までありませんでしたので、こちらを会場にしまして、北区内の構成員が一堂に会しまして交流会と研修会を行いました。

また、その隣ですが「地域の茶の間交流会 in 北区」です。こちら新潟市では地域の茶の間を中心にして支え合いのしくみづくりを進めているところではありますが、例年、交流会を開催しております。現在、北区では大体六十ちょっとの地域の茶の間がありますが、そちらの地域の茶の間に開催案内を行いました。なお、今年度につきましては、来週の 7 月 3 日、北地区コミュニティセンターを会場としまして開催する予定でおります。

その隣ですが「住民主体の訪問型生活支援研修会」ということで、こちらの豊栄地区公民館を会場としまして研修会を行いました。こちらではささえ愛ネットの上村委員からも活動の報告をしていただいております。今までですと、住民主体の訪問型生活支援をやっている団体向けの研修会ということで行っていたのですが、参加者につきましては、興

味のある方、自治会等に案内を行いまして、参加者は84名ということで、非常に多くの方から集まっていただきました。また、昨年度は東区から実際に活動されている団体からもお越しいただいて、活動の発表を行っていただきました。

最後に、一番右になりますが「広報紙『支え合いのしくみづくり』」です。こちらは北区内のさまざまな活動を行っている団体、支え合いのしくみづくりの内容について周知、広報を行うことで、助け合いの意識の醸成を図ることを目的に発行しております。

このようなところで北区で支え合いのしくみづくりを進めているところではありますが、やはり、今年元旦の地震で、災害時の対応について、各自治会でかなり意識が高まっています。

ただ、災害だから何かしなければいけないというのではなくて、やはり、先ほどから皆さん言われているとおり、ふだんからの助け合いであったり支え合いというものの、その延長上に災害時のそういった助け合いがあるのかなと考えると、やはり、日ごろからの支え合いのしくみづくりというものは非常に大切だと感じております。日ごろからの活動であったり、そういったところで皆様から本当に協力いただいております。また今年度も支え合いのしくみづくりについて、どうぞよろしく願いいたします。

(渡邊委員長)

ご説明、ありがとうございました。

その他、事務局より何かありましたらお願いいたします。

(司 会)

事務局から2点、ご連絡させていただきます。

今日の費用弁償の振り込みについてですが、8月初旬を予定しております。

2点目、今年度、今後の会議の予定につきましてですが、第2回の推進委員会は2月初旬を予定しております。日程が決まりましたらまたご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

(渡邊委員長)

ありがとうございました。

今ほどの事務局の説明に質問等はありませんか。

よろしいでしょうか。それでは、議事の進行を終了して事務局にお返ししたいと思います。議事の進行をスムーズにさせていただきますので、ありがとうございました。

(司 会)

渡邊委員長、ありがとうございました。

それでは、今年度第1回北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を終了いたし

ます。

皆様、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。